

令和５年度 随時監査（工事監査）の結果（指摘・意見）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 随時監査（工事監査）
- 2 監査対象 常磐ポンプ場№.6 雨水ポンプ設備更新工事
上下水道局技術部 施設課
- 3 監査実施期間 令和６年１月１６日

指 摘

特になし

意 見

1 想定されるリスクからの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
(6) 現場の安全管理が適切に行われないリスク ポンプは１０トンを超える非常に重い機器であるため、設置をするにあたっては、安全管理の体制を整えて施工すること。	【 措置済 】 令和 ６年 １月２４日 ポンプを吊り上げる門型クレーンの構造計算を行い安全を確認したうえで施工を行った。

2 ３E（経済性、効率性、有効性）等の視点からの着眼点に着目して行った監査結果

意 見	措置（具体的内容）・対応状況
① 工事における騒音について【住民福祉の向上の視点】 騒音は規制値を下回れば問題がないというわけではなく、工事施工中は大きな音が発生することを念頭に置きながら、近隣住民のことを考え、慎重に施工すること。	【 措置済 】 令和 ６年 １月１７日 近隣住宅付近における騒音状況を確認する監視人を配置し施工を行った。
② ポンプの試運転について【有効性の視点】 不測の事態に備えてのポンプ場であるため、今回設置したポンプの試運転を行う際には、多くのパターンを想定して十分な試運転を行うこと。	【 措置済 】 令和 ６年 ７月１９日 通常の自動運転、大雨に備えた先行待機運転など多くのパターンを想定し試運転を行った。
③ ポンプ設置後の点検について【有効性の視点】 ポンプ設置後に行う点検作業については、委託業者に任せるだけではなく、担当者が随時現場の確認に行くなどして、委託業者を牽制しながら実施状況の確認を行うこと。また、職員の技術力により委託業者への牽制も左右されることから、技術の継承を継続して行うこと。	【 措置済 】 令和 ６年 ７月３０日 委託業務の監督員がポンプメーカー推奨の点検内容を理解し、受託者の点検状況を現場で確認していくように取り決めた。 また、現場で点検状況を確認する場合に、若手職員は先輩職員に付いて回ること、ポンプや付属する設備の構造等に関する知識やスキルを習得すること、技術の継承を継続している。
④ 施工中のトラブルについて【住民福祉の向上の視点】 施工中に大きなトラブルや事故等が発生していないため、工事が完了するまで大きなトラブルや事故等が発生しないように引き続き注意すること。また、市民の命や財産を守る機器であるため、適切に稼働できるよう施工すること。	【 措置済 】 令和 ６年 ７月１９日 施工中に大きなトラブルや事故等が発生するなく完成した。また、適切に稼働することを確認し完成した。